

立命館大学

国際平和ミュージアムだより

KYOTO MUSEUM FOR WORLD PEACE, RITSUMEIKAN UNIVERSITY

Vol.32-1 (通巻93号) 2024.6.28発行



Contents

01	理念・2023年度 総括
02	第2期リニューアルオープン
04~05	国際平和ミュージアム主催イベント開催報告
06~10	平和教育研究センター活動報告
11	教育普及活動報告
12	博物館資料
13	2023年度活動記録
14	入館状況
15	遊心雑記

理念

人類は20世紀において、2度におよぶ世界大戦を経験し、幾千万もの命を失いました。しかし、地域紛争は今なお絶えることなく、多くの人びとが生存の危機にさらされています。また、飢えや貧困、人権抑圧や環境破壊など人類が共同して解決すべき問題も、多様な形で浮上ってきています。わたしたちは、紛争の原因を取りのぞき、人間の可能性が豊かに花開く平和な社会の実現に向けて努力することが求められています。

立命館大学国際平和ミュージアムは、平和創造の面において大学が果たすべき社会的責任を自覚し、平和創造の主体者をはぐくむために設立されました。

2023年度 総括

立命館大学国際平和ミュージアムは1992年に開館し、今次2回目の常設展示場の大規模リニューアルを行い、2023年9月23日に無事に再開館を果たすことが出来ました。2018年頃から、ミュージアム執行部そして全学での構想検討が本格化。基本設計、実施設計を策定した後、2022年春から本格的な制作工事を開始しました。学内外研究者、展示制作会社、事務局での協議に膨大な時間とエネルギー、忍耐が求められる事業でしたが、各々の役割を最大限努め、事業完遂することが出来ました。また、今回の展示場リニューアルと並行して、建屋内大規模工事も行いました（リフレッシュ事業）。立命館学園の施設整備部門にお支え頂き、中野記念ホール、ピースcommons、資料室、収蔵庫他、これからの諸々の活動展開に不可欠な施設を一新頂きました。今次の大規模事業を支えて下さった皆様に、ミュージアム関係者一同、心より御礼申し上げます。

9月23日に再開館して以降、多くのご来館者をお迎えさせて頂きました。9月～11月にかけては秋の教育旅行や研修等で多くの学校様、団体様をお迎えさせて頂きました。また、立命館学園に在籍する学生・生徒の皆様にも講義や演習を通じて多数来館頂きました。結果として2023年9月23日～2024年3月31日までの期間に1万4千名余りのご来館者をお迎えしました。

多くのご来館者、特に団体でのご来館者をお迎えするにあたり、ガイドスタッフ（ボランティアおよび学生によるミュージアムガイド）の皆様には大変なご活躍を頂いています。来館頂く皆様には、「あなたが考える平和とは」を問いかけ、各々が模索し、解へ到達する様、お力添を頂いています。来館者との対話を大

切にするガイド手法の構築にご腐心頂いています。ガイドの皆様のお支えに心より感謝申し上げます。

ミュージアムが再開館し、未来の平和創造へ向けての取組を開始しましたが、国内外の状況を見渡した時、考えるべきテーマ・課題は山積しています。

2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻は2年以上が経過し、未だその収束の気配はありません。2023年10月7日、イスラム組織ハマスがイスラエルへ対して大規模攻撃を行いました。これに対する報復として、イスラエルはハマスが実行支配するガザ地区への空爆、地上からの攻撃を開始。これまで、双方を合わせて3万人を超える犠牲者が生じ、その厳しい現実の世界中が心痛めています。平和を脅かす事案は直接の争いに留まりません。作夏は猛暑による影響で、カナダ西部で生じた森林火災はやがて全土へ拡散。また、8月8日にハワイ・マウイ島で発生した大規模の山火事では100名を超える犠牲者が出ました。世界気象機関（WMO）は、2023年7月は観測史上最も熱い月になると発表し、同日の記者会見でUN：グテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が来た」と述べました。そして日本では2024年1月1日夕刻、「令和6年能登半島地震」が発生、多くの犠牲者・被災者の方々へ対し日本国内外から哀悼の意が寄せられ、立命館含め多くの組織や個人による支援が続けられています。

国内外で生じた様々な事象に対して、同時代を生きる私達が自分事としてとらえ、地球市民として何が出来るか、思考・想いを深める大切さが増しており、そこへ寄与するための国際平和ミュージアムのミッションと活動は一層重要になっているものと考えます。

第2期リニューアルオープン

立命館大学国際平和ミュージアム 第2期リニューアル完成記念式典

日 時：2023年9月15日🕒 14:00～15:30

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム1階中野記念ホール

2023年9月15日、第2期リニューアル完成式典を開催しました。ご来賓として、文化庁長官の都倉俊一様、広島平和記念資料館館長の滝川卓男様、沖縄県平和祈念資料館館長の前川早由利様他をお招きし、また、60名余りの大切なお客様にご列席頂きました。立命館からは、森島朋三理事長、仲谷善雄総長を始めとする多くの役員出席のもと、リニューアル事業完成の喜びを共にいたしました。紛争や気候変動問題始め、平和を脅かす事象が世界各地で生じている中、「命」の大切さ、平和を築き維持する大変さについて、各ご登壇者からお言葉を頂きました。また、ご列席頂いた皆様から、この困難な時代において、未来の平和創造へ寄与するミュージアムの役割への期待を多くお寄せ頂いた一時となりました。



式典会場：立命館大学国際平和ミュージアムエントランスホール



立命館創始155年・学園創立125周年記念

『平和博物館3館による「館長対話」』

日 時：2023年9月15日🕒 16:00～17:30

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム地下・常設展示場

立命館大学国際平和ミュージアムは、大規模な展示場リニューアルの実施に伴い、2023年9月15日に完成記念式典を開催しました。式典当日にご来賓として出席頂いた、広島平和記念資料館館長および沖縄県平和祈念資料館館長と、立命館大学国際平和ミュージアム館長による平和博物館「館長対話」を行いました。これは立命館創始150年・学園創立125周年記念事業のひとつにも位置付けられた事業でした。

平和博物館3館による館長対話の内容としては、各館にとって象徴的な日をどのように迎えておられるのか。各館はそれぞれの地元でどのような役割を果たしているのか、また一方でグローバルにどのように発信しているのか。ピース・ツーリズムの観点についてなどをテーマに、各館の様子を踏まえながら懇談を行いました。

日本を代表する2つの平和博物館との「館長対話」を通じて、多くの事を学ばせて頂き、今後の当館の活動の礎にさせて頂く貴重な機会となりました。この「館長対話」の様子は、当館HPに掲載しています。



平和博物館3館による「館長対話」

立命館大学国際平和ミュージアム第二期リニューアル完成記念企画 https://www.youtube.com/@rwp_museum にて公開中

立命館創始155年・学園創立125周年記念
立命館大学国際平和ミュージアム・無言館コラボ企画
「天満敦子 ヴァイオリン・ソロコンサート」

日 時：2023年11月3日(金)・(祝) 14:00～15:15
会 場：立命館大学国際平和ミュージアム1階エントランスホール

立命館創始150年・学園創立125周年記念事業の1つとして、天満敦子氏をお迎えして立命館大学国際平和ミュージアム・無言館コラボ企画ヴァイオリン・ソロコンサートを開催しました。

コンサートは、3部構成で開催され、第1部と第3部は天満敦子氏によるヴァイオリン演奏、第2部は天満敦子氏、窪島誠一郎氏（無言館館主）および君島東彦館長による鼎談が行われました。

第1部および第3部の天満敦子氏によるヴァイオリン演奏においては、「トロイメライ（シューマン）」「夢のあとに（フォーレ）」「シチリアーナ（フォーレ）」などをはじめ9曲を披露され、素晴らしい演奏に感極まって涙を流されるなど多くの方が感動される様子がうかがえました。

第2部の3者による鼎談については、予定されていた時間もあっという間に過ぎ、「リニューアルを経たミュージアムへの今後の活動期待」、「無言館やミュージアムへの想い」、「無言館とミュージアムの連携の歴史」、「天満さんとも親交のある日本の政治学者・思想史家の故丸山眞男氏との温かい交流エピソード」などが語られました。

約100名もの方々に来館いただき、本学学生・院生、また地元地域の皆様にご利用したミュージアムを知って頂く良い機会になりました。



プログラム

【第1部】演奏 14:00～14:20

- ① トロイメライ（シューマン）
- ② 夢のあとに（フォーレ）
- ③ シチリアーナ（フォーレ）
- ④ ユーモレスク（ドヴォルザーク）
- ⑤ タイスの瞑想曲（マスネ）

【第2部】鼎談 14:20～14:50

天満敦子×窪島誠一郎（無言館館主）

【第3部】演奏 14:50～15:15

- ⑥ 独奏ヴァイオリンのための譚歌より
「琥珀」（和田薫）
- ⑦ からたちの花（山田耕筰）
- ⑧ 叱られて（弘田龍太郎）
- ⑨ 月の沙漠（佐々木すぐる）



立命館大学国際平和ミュージアム 第2期リニューアル 内覧会

日 時：2023年9月20日(金)、21日(土) 10:30～11:40 いずれか1日
会 場：立命館大学国際平和ミュージアム1階中野記念ホール

2023年9月23日のリニューアル開館を前に、9月20日・21日の2日間にわたり、展示場内覧会を実施しました。プロジェクトご関係者や、ミュージアムの近隣にお住いの皆様他、総勢100名の方々にご参加頂きました。参加頂いた皆様にはまず、ミュージアムからのご挨拶と、一連のリニューアル事業の経過をご報告し、その後、学芸員を中心に展示場の解説に努めさせて頂きました。その後の閉館時間までは個別に自由にご見学頂きました。リニューアル前と比較し、扱う年代を広範に設定（1840年のアヘン戦争～2022年のウクライナへのロシア侵攻まで）。また、4つのテーマ展示スペースを設け、設定したテーマを深く掘り下げました。ご来館頂いた皆様はその一つ一つの資料を丁寧にご覧くださり、中には、2時間、3時間と滞在頂きました。

新しくなった展示場では「問いかけひろば」を設けました。ご来館者個々が描く「平和」について、その想いを自由にアウトプット頂き、それをまた後のご来館者が目にして考える。こうした、来館者同士の繋がりを促す仕組みを評価頂く声を沢山寄せ頂きました。

国際平和ミュージアム主催イベント開催報告

2023年10月に発生したガザでの衝突を目にし、以来、当地で一体何が起きているのかと私達は心を痛めて参りました。ミュージアムでは、この事態について正確に理解を深めることがとても大切なことと考え、緊急イベントを開催しました。世代を問わず、日々の情勢の変化を心配し、平和を希求する多くの方が参加するイベントとなりました。

国際平和ミュージアム／立命館大学中東・イスラーム研究センター共催 WEBセミナー「ガザでいま何が起きているのか」

日時：2023年11月15日(水) 16:30～

WEBセミナー (Zoomウェビナー)

参加者数：122名

共催：立命館大学国際平和ミュージアム／
立命館大学中東・イスラーム研究センター

講師：鈴木 啓之氏 (東京大学大学院総合文化研究科
スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座特任准教授)
大澤 みずほ氏 (日本国際ボランティアセンター (JVC)
パレスチナ事業エルサレム事務所現地調整員)

討論：末近 浩太氏 (立命館大学国際関係学部教授)

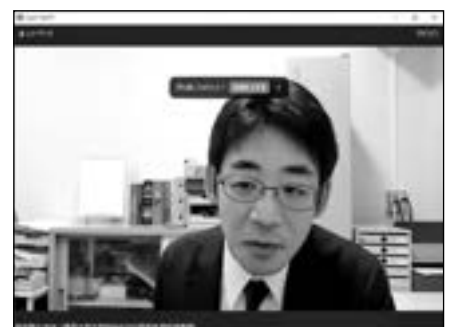
司会：君島 東彦氏 (立命館大学国際関係学部教授・
立命館大学国際平和ミュージアム館長)

企画・コーディネーター：鳥山 純子氏 (立命館大学国際関係学部准教授)

2023年10月から始まった切迫したパレスチナ・ガザ地区の過酷な現状や逃げ場を失った多数の住民を巻き込んだかつてない人道危機について、パレスチナ、イスラエル、中東地域の現在に至るまでの歴史的経緯を踏まえ、学内外のオピニオンリーダーの専門家の講師の方にご講演頂き、WEBセミナーを開催し、本学学生・院生をはじめ、一般の方等多くの方にご参加頂きました。

今回、標記題名にて、今回の講師をご依頼した中東地域研究・国際関係論が専門の鈴木先生と、イスラエルより、現場の最前線でご尽力されている日本国際ボランティアセンター (JVC) エルサレム事務所の大澤氏から最新のガザ地区について、最新の情報を提供頂いた後、中東研究ご専門の本学国際関係学部教授の末近先生に、他の講師の先生方のご意見をおまとめ頂くとともに、末近先生のご所見をお話頂き、短時間ではありましたが、非常に内容の濃いセミナーを行うことができました。

最後に、視聴者からお寄せ頂いた数多くのご質問に対し、本セミナーを企画・調整頂いた本学国際関係学部准教授の鳥山先生がコーディネートされ、講師の先生方がそれぞれ参加者の全ての質問にコメント頂くことで、参加者がともに考え、事態の即時収束を切に願いました。



「イスラエル／パレスチナ紛争をめぐる学生ピーストーク」

日 時：2023年12月23日📍

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム 2階ピースコモンズ

参加者数：23名

主 催：立命館大学国際平和ミュージアム

講 師：役重 善洋 氏 (同志社大学人文科学研究所嘱託研究員)

ヨコタ ジェリー 氏 (大阪大学言語文化研究科名誉教授)

ファシリテーター：

君島 東彦 氏 (立命館大学国際関係学部教授・
立命館大学国際平和ミュージアム館長)

学生発表者：3人



プログラム

【第1部】 講演・学生グループディスカッション・発表等

- ①役重 氏
- ②ヨコタ 氏
- ③学生グループディスカッション・発表

【第2部】 学生報告等

- ①3名、1人10分～20分程度の報告
- ②学生グループディスカッション・発表
- ③講師の先生2人のコメント



平和教育研究センター活動報告

2022年2月にロシアによるウクライナ侵攻が行われ、また、2023年10月には中東ガザでの新たな紛争が生じました。世界各地で困難な事案が絶えない状況下、「歴史に学び、現代の課題を見据え、そして未来の平和創造に資する」ための様々な研究プロジェクトが展開されました。

更に、平和を脅かす事象は、紛争に留まらず、気候変動や経済格差、ジェンダー等、多岐にわたります。24年度はこうした課題も見据えた研究プロジェクトの展開に努めて参ります。

1 センター企画・公開講演会

立命館土曜講座

国際平和ミュージアム・リニューアル奮闘記

～開館30周年のミュージアムの歩みと

第2期リニューアルの意義と展望～

①奮闘記 教員編

日程：2023年8月5日📍

司会：市井 吉興氏 (立命館大学産業社会学部教授/
立命館大学国際平和ミュージアム副館長)

登壇者：君島 東彦氏 (立命館大学国際関係学部教授/
立命館大学国際平和ミュージアム館長)

細谷 亨氏 (立命館大学経済学部准教授/
立命館大学国際平和ミュージアム副館長)

安斎 育郎氏 (立命館大学名誉教授/
立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長)

②奮闘記 学芸員・スタッフ編

日程：2023年8月26日📍

司会：市井 吉興氏 (立命館大学産業社会学部教授/
立命館大学国際平和ミュージアム副館長)

登壇者：田鍬 美紀氏 (立命館大学国際平和ミュージアムオフィス学芸員)

谷口 綾氏 (立命館大学国際平和ミュージアムオフィス学芸員)

大月 功雄氏 (立命館大学国際平和ミュージアムオフィス学芸員)

田島 募氏 (立命館大学国際平和ミュージアムオフィス課長補佐)

2 プロジェクト研究

平和博物館における戦争体験継承

平和博物館における戦争体験継承の在り方を、理論、実践両面から検討し、戦争体験者のいない次世代における平和博物館の展示の在り方を提起する。

①第16回ワークショップ

「『準被爆都市』の平和資料館

—北九州市平和のまちミュージアムとその周辺—

日時：2023年11月10日📍 17:00～19:00

会場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21

立命館大学国際平和ミュージアム2階セミナー室1

講師：鈴木 裕貴氏 (立命館大学衣笠総合研究機構・研究員)

②第17回ワークショップ

「ウトロ平和祈念館—生活と運動の歴史をいかに保存するか—

日時：2024年2月20日📍 15:30～17:00

会場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21

立命館大学国際平和ミュージアム2階セミナー室1

報告：孫 片田 晶氏 (立命館大学産業社会学部教授)

全ウんフィ氏 (大阪公立大学)

③第18回ワークショップ

「アウシュヴィッツから考える平和について」(セミクローズド)

日時：2024年3月22日📍

展示見学：10:00～/セミナー：11:00～

会場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21

立命館大学国際平和ミュージアム2階セミナー室1

話者：Thomasz Michaldo氏

博物館の資料研究（一五年戦争セクション）

一五年戦争の実態や戦争がその後の社会や人々に与えた影響に関する調査研究の中に当館資料を位置づけ、調査研究の進展、資料の活用促進、若手による資料研究の促進を目指す。

①第28回メディア資料研究会

「空襲マップをつくる—米軍資料の文字データ化と活用—」

日 時：2023年7月25日📍 18:00～19:30

形 式：オンライン開催（ZOOM）

講 師：工藤 洋三氏（空襲・戦災を記録する会事務局長 工学博士）

②第29回メディア資料研究会

「丹波マンガンの記憶」

日 時：2023年11月28日📍 14:00～16:30

会 場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21

立命館大学国際平和ミュージアム1階中野記念ホール

講 師：李 龍植氏（丹波マンガン記念館館長）

③第30回メディア資料研究会

「絵が語る戦争の傷痕—坂本正直と戦争のトラウマ—」

日 時：2023年12月21日📍 14:00～16:30

第一部 坂本正直作品ギャラリートーク（14:00～14:30）

第二部 ト라우マ研究から見た坂本正直作品（15:00～16:30）

会 場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21

立命館大学国際平和ミュージアム1階企画展示室・

2階セミナー室1

講 師：第一部 所 薫子氏（坂本正直記念館）

第二部 中村 江里氏（広島大学大学院准教授）

④資料研究報告第6号発行

発行日：2023年6月23日📍

博物館の資料研究（戦後社会セクション）

戦後社会の中で市民が平和を求めた動きの見直しと再評価に繋がる資料収集、調査、研究、展示を行う。

①聞き取り調査の実施

夜間中学校（高野雅夫など）、ハンセン病（湯浅進など）、フォー
ク（坂本洋、中川五郎、高石ともや、岡林信康など）

②聞き取りの読み直し

③立命館平和研究別冊2号の発行準備

自衛隊基地の地域社会史

自衛隊（及び米軍）と地域社会の歴史的関係に着目した「軍事化」研究

①研究会

「[地域の軍事化]を捉える私の視座

—内灘・砂川、そして三里塚へ—

日 時：2023年12月16日📍 16:00～18:30

会 場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21

立命館大学国際平和ミュージアム2階セミナー室1

講 師：森脇 孝広氏（都留文科大学・高崎経済大学非常勤講師）

コメンテーター：

中島 弘二氏（自衛隊基地の地域社会史プロジェクト学外構成員）

②研究会

「自然の命を解き放つ

—インゴルド、スコット、グレーバーの人類学の思想と実践」

※開催中止

日 時：2024年3月15日📍 13:30～15:30

会 場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21

立命館大学国際平和ミュージアム2階セミナー室1

講 師：比嘉 理麻氏（沖縄国際大学総合文化学部准教授）

コメント：今津 有梨氏（延世大学大学院文化人類学部）

司 会：番匠 健一氏（立命館大学平和教育研究センター）

③資料収集・聞き取り調査による自衛隊の実態調査

日出生台軍事演習場調査

日 程：2023年10月

④聞き取り調査の整理

自衛隊地域の聞き取り調査のテープ起こし

京都国際比較人権セミナー

国際比較法的な観点から見た人権問題の研究

①セミナー

「欧州人権裁判所と人権保障」

日 時：2023年4月12日📍 14:40～16:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

講 師：Prof. Dr. Peggy Ducoulombier氏（ストラスブール大学法学部）

②講演会

「EU and Omnilateralism」

日 時：2023年4月18日📍 10:40～12:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

講 師：Dr. Wolfgang Pape氏（元欧州連合専門委員）

③ 京都国際比較人権セミナー

「樋口季一郎とユダヤ難民救済」

日 時：2023年5月24日🕒 14:40～16:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

報告者：樋口 隆一 氏 (明治学院大学文学部名誉教授)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

④ 京都国際比較人権セミナー

「裁判官と人権保障」

日 時：2023年6月17日🕒 10:40～12:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス存心館 ZS310教室

報告者：関口 恒 氏 (岡山家裁判事補)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑤ 比較司法制度研究会

「米国最高裁判所の役割と課題」

日 時：2023年6月17日🕒 13:00～14:30

会 場：立命館大学衣笠キャンパス存心館 ZS310教室

講演者：Prof. Jeffrey Lubbers 氏 (American University WCL)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑥ (平和教育研究センター共催)

比較司法制度研究会

「US Supreme Court decision on affirmative action in college admissions」

日 時：2023年7月10日🕒 14:40～16:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

講演者：Prof. Jeffrey Lubbers 氏 (American University WCL)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑦ 民事手続における基本権保障に関する

国際ワークショップ

日 時：2023年10月

講演者：Prof. Dr. Astrid Stadler 氏

(Chair of Private Law, Civil Procedure Law, Private International Law & Comparative Law, University of Konstanz, Germany)

⑧ 「ドイツにおけるデジタル化と民事訴訟」

日 時：2023年10月9日🕒・🕒 10:40～11:20

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

報告者：Prof. Dr. Astrid Stadler 氏

(Chair of Private Law, Civil Procedure Law, Private International Law & Comparative Law, University of Konstanz, Germany)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑨ 「オーストリアにおける民事訴訟のデジタル化」

日 時：2023年10月9日🕒・🕒 11:30～12:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

報告者：Mrs. Karoline Edtstadler 氏

(Federal Minister for the EU and Constitution)
(at the Federal Chancellery in Austria)

コメンテーター：

Prof. Dr. Michael Reiterer 氏

(元在韓国欧州連合大使・立命館大学国際関係学部客員教授)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑩ (平和教育研究センター後援)

比較司法制度研究会

「The Limitation Objection - Dogmatic and Comparative Law Sketches.」

日 時：2023年10月25日🕒 14:40～16:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

報告者：Prof. Dr. Chris Thomale 氏 (ウィーン大学法学部)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑪ (平和教育研究センター後援)

Special Lecture

「Opportunities in the relations between Switzerland and Asia」

日 時：2023年10月26日🕒 16:20～17:50

会 場：立命館大学衣笠キャンパス恒心館 KS204教室

講演者：Ambassador Heinrich Schellenberg 氏

(Head of the Asia Pacific Division, Swiss
Federal Department of Foreign Affairs)

モデレーター：

Prof. SMITH, Nathaniel M 氏 (立命館大学国際関係学部)

⑫ 日韓シンポジウム

日 程：2023年11月

講演者：Prof. Dr. Michael Reiterer 氏

(元在韓国欧州連合大使・立命館大学国際関係学部客員教授)

⑬ (平和教育研究センター後援)

比較司法制度研究会

「杉原千畝とリトアニア (人道のビザと国益)」

日 時：2023年11月6日🕒 10:40～12:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

講 師：重枝 豊英 氏 (元駐リトアニア共和国日本国大使)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑭ (平和教育研究センター後援)

比較司法制度研究会

「バイエルン州における司法のデジタル化」

日 時：2023年11月11日🕒 10:40～12:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス存心館 ZS207教室

報告者：Cornelius Patzinger 氏

(Public prosecutor at the public prosecutor's office of Munich I)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑮ (平和教育研究センター後援)

比較司法制度研究会

「労働裁判のデジタル化」

日 時：2023年11月11日🕒 14:40～16:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス存心館 ZS207教室

報告者：Prof. Dr. Volker Rieble 氏

(ミュンヘン大学法学部 Zentrum für Arbeitsbeziehungen und Arbeitsrecht)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑯ (平和教育研究センター後援)

比較司法制度研究会

「ドイツ連邦最高裁判所と人権保障」

日 時：2023年11月29日🕒 14:40～16:10

会 場：立命館大学衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

講 師：Christian Röhl 氏 (ドイツ最高裁判所判事)

司 会：出口 雅久 氏 (立命館大学法学部教授)

⑰ International Workshop in Kyoto 2024

日 程：2024年3月5日🕒、6日🕒

会 場：立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム

⑱ (平和教育研究センター後援)

日韓民事執行法セミナー

日 時：2024年3月15日🕒 16:00～19:00

会 場：立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム

セッション1 「韓国における執行官の役割」

司 会：李鎬元氏 (延世大学法科大学校)

第一報告者：李在奭氏 (法院公務員教育院執行官研修外来教授・)
韓国民事執行法学会副会長

セッション2 「韓国における司法補佐官の役割」

司 会：金 炯科 氏 (韓国憲法裁判所)

報告者：金 裕桓 氏 (仁川地方法院司法補佐官・司法補佐官実務便覧執筆委員)

コメント&質疑

山本 和彦 氏 (一橋大学法学部教授)

川中 啓由 氏 (立命館大学法学部准教授)

平野 哲郎 氏 (立命館大学法学部教授)

吉垣 実 氏 (愛知大学法学部教授)

3.11後の平和博物館の展示内容の改善と展示パネルの制作

福島第一原発事故の実態、原因および今後の展望に関する展示パネルの制作

①展示セット「福島原発事故はなぜ起きたのか？」の英文化

②ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ伝言館外国人来館者に対する「福島原発事故はなぜ起きたのか？」展示セット内容のレクチャーおよび展示セット有効性の確認

パンデミック下のオンライン戦争展の構築

内外の平和博物館と連携したオンライン戦争展構築

化学兵器に関する展示とアウシュヴィッツに関する展示を統合した展示資料 (日本語版) 制作作業の完遂

附属校平和教育研究会

多様な附属校平和教育の充実を目指すとともに、附属校平和教育実践の発信を行います。

①2023年度附属校平和教育研究会

第1回 2023年5月11日🕒 16:30～17:30

第2回 2023年10月5日🕒 15:00～17:00

第3回 2024年3月19日🕒 16:30～17:30

②立命館附属校平和教育研究実践展示

2024年2月9日🕒～26日🕒 立命館宇治中学校・高等学校

3月1日🕒～22日🕒 立命館守山中学校・高等学校

「平和」をテーマとするマンガ・オンライン展覧会 プロジェクト

コロナ禍、ウクライナ問題といった、「平和」を脅かす「暴力」が生まれつつある現代を、一般公募の「オンラインマンガ展」というメディアを持って記録する。

①スタートアップ研究会

日 時：2023年6月16日🕒

会 場：京都国際マンガミュージアム (対面およびオンライン)

参加者：田中 聡 氏、安齋 育郎 氏、伊藤 遊 氏、

吉村 和真 氏、しりあがり寿 氏、安齋 肇 氏

②第4回マンガパンデミックWEB展実施

期 間：2023年11月1日🕒～2024年1月31日🕒

被爆の実相の継承と、平和のための博物館の国内・国際ネットワークの構築・強化

ZOOMを用いて、子どもや市民を対象に被爆の実相の継承を行う。またMuseums for Peace Worldwideの更新および2023年8月に開催されるINMP大会の日本語要旨作成に取り組む。平和のための博物館市民ネットワークと平和のための博物館国際ネットワークの構築・強化を行う。

①学習会「ウクライナを見る視点」

日程：2023年5月14日㊦

講師：安斎 育郎氏

②平和のための博物館市民ネットワーク全国交流会

日程：2023年12月2日㊦、3日㊧

③報告の翻訳作業

- ・“CHALLENGING NUCLEAR SECRECY: a discussion of ethics, hierarchies and barriers to access in nuclear archives” (Marco de Jong, Nic Maclellan, Carla Cantagallo, Dimity Hawkins, Pam Kingfisher 著、Nuclear Truth Project発行)の和訳
- ・「被爆二世・三世とそして未来世代の健康を守るために：被爆二世・三世健康調査アンケート結果報告書」(京都被爆二世・三世の会発行)の英訳

④各種刊行物等の発行

- ・「INMP大会報告要旨の日本語版」オンライン出版
編集：山根 和代、安斎 育郎
翻訳：赤松 敦子、大塚 未希、小島 健太郎、寺沢 京子、山根 和代
- ・日本語版ミューズ 平和のための博物館市民ネットワーク通信 52号(6月)、53号(9月)、54号(12月)
- ・英語版Muse 平和のための博物館市民ネットワーク通信 No. 50、51、52
- ・「INMP30周年記念シンポジウム冊子」日本語版
翻訳：山根 和代
編集：安斎 育郎、山根 和代
- ・INMP Newsletter No. 39 (9月)
- ・日本語版INMP 通信 No. 39 (9月)

京滋地域の満洲開拓団と引揚げに関する基礎的研究

既存研究では十分に明らかにされてこなかった京滋地域の満洲開拓団と引揚げの実態について、関連資料の調査と体験者への聞き取り調査の両面から検討し、京滋地域の経験を満洲開拓史や近現代史全体の中に位置づけることを目指す。

①資料調査

- ・滋賀県立公文書館
日程：2023年8月23日㊦
- ・徳島県神山町郷土資料館

日程：2024年2月29日㊦、3月1日㊧

②第1回 満洲開拓史研究会

「地域における“継承”の意義と課題—北陸・石川・金沢の事例を中心として—」

日時：2023年10月20日㊦ 17:30~19:30

会場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21
立命館大学国際平和ミュージアム2階セミナー室1

講師：小林 信介氏 (金沢大学教授)

③第2回 満洲開拓史研究会

「私の満洲体験—元東京農業大学満洲報国農場隊員・村尾孝さんに聞く—」

日時：2023年12月2日㊦ 13:30~15:30

会場：立命館大学衣笠キャンパスアカデミア立命21
立命館大学国際平和ミュージアム2階セミナー室1

講師：村尾 孝氏 (立命館大学国際平和ミュージアムボランティアガイド)

3 センター活動の発信

紀要『立命館平和研究』第25号発行

巻頭特集

「国際平和ミュージアム・リニューアル奮闘記」

開館30周年のミュージアムの歩みと第2期リニューアルの意義と展望 (市井 吉興ほか)

ほか

論文 4本

研究展望・研究ノート・実践報告 3本

2024年3月25日発行

紀要『立命館平和研究』別冊第2号

平和教育研究センターに設置された研究プロジェクト「博物館の資料研究(戦後社会セクション)が進めてきた「反戦のための万国博(通称「ハンパク」)」に関する共同研究の成果発信として発行します。

ハンパクをつくりあげた人びと

—聞き取り調査の記録を読む (大野 光明)

ほか

聞き取り調査 3本

2024年3月25日発行

教育普及活動報告

パレスチナ／イスラエル紛争、特にガザ情勢など、切迫する国際情勢・時事に合わせ、本学学生・院生から寄せられた声を活かしたイベントを検討し、実施しました。開催方法も、都度、内容等を勘案し、対面、オンライン等できるだけ柔軟に対応しました。各イベントの学内外の参加者アンケート結果では、おおむね「満足」との回答と肯定的な感想を頂くことができました。

教材キット・パネル、展示パネル、DVDの貸し出し

展示パネルは、貸出件数9件のうち、7件が夏期（7月、8月）に学外団体の展示会等で利用頂き、参加者の方から大きな反響がありました。また、23年6月にイラク戦争をテーマとした「森住卓フォト・レポート」の貸出を再開し、3件の貸出を行いました。

2023年度の教材キット貸出件数は、2件（1団体）でした。

2021年度に当館で開発した「デジタル平和講義・同平和講話」は、23年度も中学校、保育園、予約団体の方等、幅広い世代の方に利用頂き、「戦争体験者の方のお話はなかなかないので、このような教材は大変ありがたい」などの感想をいただき、授業やグループ学習等、幅広い用途に利用されています。

各種展示会で活用いただける「展示パネル」の貸出を行っています。

パネル名	貸出件数
原子爆弾：広島・長崎の記録	1
原爆と人間展	1
沖縄戦と基地	1
森住卓フォト・レポート「イラク、戦争と子どもたち」	3
井戸も掘る医者： ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画	1
ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間	2
合計	9

「教材キット・パネル」2023年度の利用状況は以下のとおりです。

	小学校	中学校	高校	その他	合計
一五年戦争（慰問袋） キット	0	1	0	0	1
「原子力と私たちの生活」 パネル	0	1	0	0	1
合計	0	2	0	0	2

「DVDによる教育普及ツール」当館がリニューアルオープンした2023年度には貸出件数が急増しました。

	2021年度	2022年度	2023年度	合計
デジタル平和講義	1	1	6	8
デジタル平和講話	5	2	36	43
合計	6	3	42	51

職場体験学習：立命館中学校

11月8日☀～11月10日☀の3日間、立命館中学校より3名を受入れました。期間中は、受付や展示室でのガイドや学芸員の仕事、メディア資料室で本の選定とPOP制作を担当してもらい、ミュージアムの仕事を体験しました。

主に職員や学生スタッフと一緒に、小学生や中学生が興味を持ってくれるようなPOPの原稿やレイアウトを考たり、受付業務やガイド体験における来館者対応を通じて、多くの職員やスタッフがミュージアムを運営するために協働していることを経験しました。

また、職場体験学習に参加した中学生も受付やガイド体験、POP制作を通じて、ミュージアムの仕事の主旨である、人に伝える大切さを今回の経験を通じて体感してくれたようでした。



博物館資料（資料収集・保管・利活用）

資料・図書の受入（寄贈・寄託）

2023年度における資料・図書の寄贈受け入れ状況は以下のとおりです。

収蔵資料数	寄贈・購入資料	42,069件
	寄託資料	4051件
	合計	46120件

(2024.3.31 現在)

寄贈資料 個人・団体 …… 54件

寄贈図書 図書（個人） …… 受入なし
図書（団体） …… 76件・135冊
合計 …… 76件・135冊

購入図書 119件（高額図書・映像資料を含む）

2023年度 資料・図書などの寄贈者一覧

資料								
鯉坂学	生島隆治	内田優	小野逸郎	瀧井信彦	隅川直昭	笹原真理子	澤田聡	瀬口允子
樋口佳孝	高橋美充	丹治良博	利念正洋	松尾弘	西山直子			

(敬称略・50音順)

2023年度は、以上の方々から資料や図書などをご寄贈いただきました。お名前を記し、感謝の意を表します。また、寄贈者につきましては、許可をいただいた方のみ、お名前を掲載させていただいています。

2023年度活動記録

4/12	京都国際比較人権セミナー ①セミナー「欧州人権裁判所と人権保障」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
4/18	京都国際比較人権セミナー ②講演会「EU and Omnilateralism」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
5/11	附属校平和教育研究会 2023 年度第 1 回 附属校平和教育研究会
5/14	被爆の実相の継承と、平和のための博物館の国内・国際ネットワークの構築・強化 ①学習会「ウクライナを見る視点」
5/24	京都国際比較人権セミナー ③京都国際比較人権セミナー「樋口季一郎とユダヤ難民救済」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
6/16	「平和」をテーマとするマンガ・オンライン展覧会 プロジェクト ①スタートアップ研究会／京都国際マンガミュージアム（対面およびオンライン）
6/17	京都国際比較人権セミナー ④京都国際比較人権セミナー「裁判官と人権保障」／存心館 ZS310 教室
6/17	京都国際比較人権セミナー ⑤比較司法制度研究会「米国最高裁判所の役割と課題」／存心館 ZS310 教室
7/10	京都国際比較人権セミナー ⑥（平和教育研究センター共催）比較司法制度研究会 「US Supreme Court decision on affirmative action in college admissions」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
7/25	博物館の資料研究（一五年戦争セクション） 第 28 回メディア資料研究会「空襲マップをつくる－米軍資料の文字データ化と活用－」（オンライン）
	立命館土曜講座 国際平和ミュージアム・リニューアル奮闘記～開館 30 周年のミュージアムの歩みと第 2 期リニューアルの意義と展望～
8/5	①奮闘記 教員編
8/26	②奮闘記 学芸員・スタッフ編
8/23	京滋地域の満洲開拓団と引揚げに関する基礎的研究 資料調査：滋賀県立公文書館
9/15	リニューアル完成式典
9/20・21	リニューアル完成・内覧会
10月	日出生台軍事演習場調査
	京都国際比較人権セミナー ⑦民事手続における基本権保障に関する国際ワークショップ
10/5	附属校平和教育研究会 2023 年度第 2 回 附属校平和教育研究会
10/9	京都国際比較人権セミナー ⑧「ドイツにおけるデジタル化と民事訴訟」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
10/9	京都国際比較人権セミナー ⑨「オーストリアにおける民事訴訟のデジタル化」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
10/20	京滋地域の満洲開拓団と引揚げに関する基礎的研究 第 1 回 満洲開拓史研究会「地域における“継承”の意義と課題－北陸・石川・金沢の事例を中心として－」
10/25	京都国際比較人権セミナー ⑩（平和教育研究センター後援）比較司法制度研究会 「The Limitation Objection - Dogmatic and Comparative Law Sketches.」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
10/26	京都国際比較人権セミナー ⑪（平和教育研究センター後援）Special Lecture 「Opportunities in the relations between Switzerland and Asia」／恒心館 KS204 教室
11月	京都国際比較人権セミナー ⑫日韓シンポジウム
11/1～1/31	「平和」をテーマとするマンガ・オンライン展覧会 プロジェクト ②第 4 回マンガパンデミック WEB 展実施
11/3	天満敦子 ヴァイオリン・ソロコンサート
11/6	京都国際比較人権セミナー ⑬（平和教育研究センター後援）比較司法制度研究会 「杉原千畝とリトアニア（人道のビザと国益）」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
11/10	平和博物館における戦争体験継承 第 16 回ワークショップ「「準被爆都市」の平和資料館－北九州市平和のまちミュージアムとその周辺－」
11/11	京都国際比較人権セミナー ⑭（平和教育研究センター後援）比較司法制度研究会 「バイエルン州における司法のデジタル化」／存心館 ZS207 教室
11/11	京都国際比較人権セミナー ⑮（平和教育研究センター後援）比較司法制度研究会「労働裁判のデジタル化」／存心館 ZS207 教室
11/15	WEB セミナー「ガザでいま何が起きているのか」
11/28	博物館の資料研究（一五年戦争セクション）第 29 回メディア資料研究会「丹波マンガンの記憶」
11/29	京都国際比較人権セミナー ⑯（平和教育研究センター後援）比較司法制度研究会 「ドイツ連邦最高裁判所と人権保障」／平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
12/2	京滋地域の満洲開拓団と引揚げに関する基礎的研究 第 2 回 満洲開拓史研究会「私の満洲体験－元東京農業大学満洲報国農場隊員・村尾孝さんに聞く－」
12/2・3	被爆の実相の継承と、平和のための博物館の国内・国際ネットワークの構築・強化 ②平和のための博物館市民ネットワーク全国交流会
12/16	自衛隊基地の地域社会史 研究会「「地域の軍事化」を捉える私の視座－内灘・砂川、そして三里塚へ－」
12/21	博物館の資料研究（一五年戦争セクション） 第 30 回メディア資料研究会「絵が語る戦争の傷痕－坂本正直と戦争のトラウマ－」
12/23	「イスラエル／パレスチナ紛争をめぐる学生ピーストーク」
2/9～26	立命館附属校平和教育研究実践展示 立命館宇治中学校・高等学校
2/20	平和博物館における戦争体験継承 第 17 回ワークショップ「ウトロ平和祈念館－生活と運動の歴史をいかに保存するか－」
2/29・3/1	京滋地域の満洲開拓団と引揚げに関する基礎的研究 資料調査：徳島県神山町郷土資料館
3/1～22	立命館附属校平和教育研究実践展示 立命館守山中学校・高等学校
3/5・6	京都国際比較人権セミナー ⑰ International Workshop in Kyoto 2024／創思館カンファレンスルーム
3/19	附属校平和教育研究会 2023 年度第 3 回 附属校平和教育研究会
3/15	自衛隊基地の地域社会史 研究会「自然の命を解き放つ－インゴルド、スコット、グレーバーの人類学の思想と実践」※開催中止
3/15	京都国際比較人権セミナー ⑱（平和教育研究センター後援）日韓民事執行法セミナー／創思館カンファレンスルーム
3/22	平和博物館における戦争体験継承 第 18 回ワークショップ「アウシュヴィッツから考える平和について」（セミクローズド）

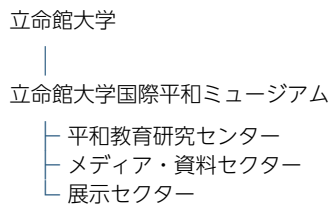
イベント
講演会
その他活動

*会場記載のないものは、すべて立命館大学国際平和ミュージアムもしくはオンラインにて開催

2023年度入館者状況 (2023年9月23日～2024年3月)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	8	25	24	21	19	24	20	141
入館者数	1,301	3,156	5,322	2,137	1,316	1,025	1,343	15,600
累計 (開館当初からの入館者数)								1,161,738

組織図



運営体制 (2024年度)

館長	君島 東彦 (立命館大学 国際関係学部教授)
平和教育研究センター長	君島 東彦 (立命館大学 国際関係学部教授)
メディア・資料セクター長	勝村 誠 (立命館大学 政策科学部教授)
展示セクター長	鳥山 純子 (立命館大学 国際関係学部教授)

遊心雑記

ジャネット・ランキンをご存じ？

政権党の裏金問題が話題になった2023年12月、私はすぐにアメリカの政治家ジャネット・ランキンのことを思い浮かべ、私が館長を務める平和博物館「ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ伝言館」が2024年1月に開催を予定している特別展で取り上げようと思いました。

日本ではあまり知られていませんが、ジャネット・ランキンはアメリカ連邦議会史上初めての女性議員で、しかも、第一次世界大戦と第二次世界大戦の両方に反対票を投じた歴史上唯一の連邦議会議員です。今では議事堂内に彼女の銅像が建てられており、台座には「私は戦争に賛成票を投じる訳にはいかない」(I cannot vote for war)と刻まれています。最近では、新しい10ドル札の顔にジャネットを採用したらという議論も起きています。

私がジャネットに関心をもったのは、2004年、彼女の生まれ故郷であるモンタナ州ミズーラのモンタナ大学に講演を頼まれて行った時、物産館でメアリー・バーマイヤー・オブライエン著『大空に輝く明るい星—ジャネット・ランキン(1880-1973)』(Mary Barmeier O'Brien "Bright Star in the Big Sky - Jeannette Rankin")を購入し、帰路に読んだのがきっかけです。これは日本でも出版されるべきだと考えて、帰国後すぐにアメリカの出版社と交渉、立命館慶祥中学校・高等学校の英語教師だった南部ゆりさんと共同で翻訳して水曜社から出版しました。

2024年1月15日～3月10日に開催された伝言館の特別展では、36枚のパネルと28頁の解説パンフレットでジャネットの生い立ちと連邦議会議員としての働きや平和活動家とし

安齋 育郎 (立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長)

での活動を紹介しましたが、生涯を通じて清廉にして芯のぶれない平和的な生き方を貫いたジャネットの姿は、裏金問題に揺れる日本の政界の混濁の中でひときわ輝いているように見えました。



メアリー・バーマイヤー・オブライエン著、安齋育郎・南部ゆり訳『非戦の人ジャネット・ランキン—アメリカの良心と呼ばれた女性』(水曜社、2004年)

立命館大学国際平和ミュージアムだより

 立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

第32巻 第1号 (通巻93号) 2024年6月28日発行

編集・発行 立命館大学国際平和ミュージアム

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL: 075-465-8151 / FAX: 075-465-7899

<https://rwp-museum.jp>



HP



Instagram



今後、特別展のご案内、ミュージアムだより等、国際平和ミュージアムより送付をご希望されない場合、また、送付先の住所変更等ございましたら、氏名・団体名、送付先住所、電話番号、FAX番号をご記入の上、FAXにて国際平和ミュージアム(075-465-7899)へ送信ください。